

井上明夫新聞 ～日田市議会だより～



今年はいつまでも暑く、地球温暖化が実感として迫ってくる気候でした。服装も「クールビズ」がはやりましたが、なにはともあれ、省エネに結びつくことは、どんどんやるべきです。

一方、日田市は総合文化施設の起工式が 10 月 8 日に行なわれ、いよいよ建設が始まります。また、岩田屋跡地も、商業施設とマンションを兼ねた建物として開発される計画が進んでいます。これらが起爆剤となり、日田市の経済が活性化されることを期待しましょう。

12 月議会 (平成 17 年度第 4 回定例会)

日田市議会 12 月議会は、12 月 2 日から 20 日まで開催されました。

天瀬町の汚泥堆肥化施設に「反対」を全会一致で可決!!

天瀬町五馬地区の山中に産廃処理会社 (本社・岡山県) が下水道汚泥から肥料を製造販売する施設の建設を計画していることに対し、日田市議会は「進出に反対する決議」を可決しました。理由は、「九州一円から汚泥を持ち込む大規模施設であること」「地元住民から環境破壊につながる」として 4, 151 人分の反対署名と陳情書が提出されていることなどです。

この問題では、日田市自治会連合会も「反対決議」を行い、市民・行政・議会がそろって反対しています。

しかし、業者が操業条件をクリアすれば、県は許可せざるを得ず、「反対決議」も法的な拘束力がないため予断を許しません。

市民感情としては、「なぜ、よそから、日田市に大量の汚泥を持ち込むのか」という思いを当然もちます。

また、ゴミ問題が深刻化する中、今後、市周辺部では同様の事態も懸念されるので、納得のいく決着がなされるよう、十分監視して行かなければなりません。

(議案・請願等に関する詳しい題目は 11 月 1 日付市報の「市議会だより」を御参照ください)

❖ ご意見・ご感想等、下記の連絡先までお寄せ下さい ❖

[連絡先] 井上明夫 ☎877-1103 日田市鶴河内町 4279

TEL. 0973-28-2750 FAX. 0973-28-2227 / E-mail aiforest@lime.ocn.ne.jp

☆井上明夫の一般質問要旨☆

日田市全域での高速情報通信網の整備をいそげ！！

- ①[質 問] インターネット等の高速通信網の整備が、市の周辺部で遅れが目立ち、情報格差が発生しているが、今後の整備の見通しを伺いたい。

[企画文化部長]

高速通信網のインフラ整備は、特に旧日田市の周辺部で遅れているので、市の出先機関や小中学校を光ファイバーで接続する事業を実施し、その周辺のブロードバンド化につなげたい。時期は平成 18 年度に重点的にやりたい。

市立博物館等の既存の文化施設の再整備をのぞむ！！

- ②[質 問] 築 45 年の市立博物館や、交通アクセスの悪い埋蔵文化財センターといった施設の現状と今後の施設整備の考えを伺いたい。

[教育次長] 市立博物館は、昭和 35 年に**広瀬淡窓 100 年祭記念事業で建設され、大分県ではじめての公立博物館**であったが、施設が小さいことと老朽化していることは否めない現状である。埋蔵文化財センターは、平成 14 年に開設され、今年度からは旧郡部の遺物の展示も行っている。

今後は、博物館と埋蔵文化財センターの 2 つを 1 つにした複合的な機能を持った施設を十分検討していきたい。

(この質問に関しては、西日本新聞・大分合同新聞で取り上げられました)

学校給食の食材は「地産地消」をめざせ！！

- ③[質 問] 「食育基本法」が成立し、その中で学校給食における地元産品の消費促進がうたわれているが、日田市の取り組みと今後の方針について伺いたい。

[教育次長] 日田市給食センターに関しては、米は日田産 100%だが、主要な野菜では地元産は 7.5%程度である。地元の生産者と給食センターと市農政課の間での協議も行っているので、今後、使用拡大に向けて努力したい。

また、日田産米限定の米粉パンの使用も検討したい。

公共施設に木質系の自然エネルギーの導入を！！

- ④[質 問] 市内で大量に排出される木くずやバーク等を、木質ペレットなどの自然エネルギーの形で公共施設で消費することを検討できないか伺いたい。

[市民環境部長] 太陽光発電等、自然エネルギーの公共施設への導入は行っている。木質系についても、それぞれの事業で検討はしている。